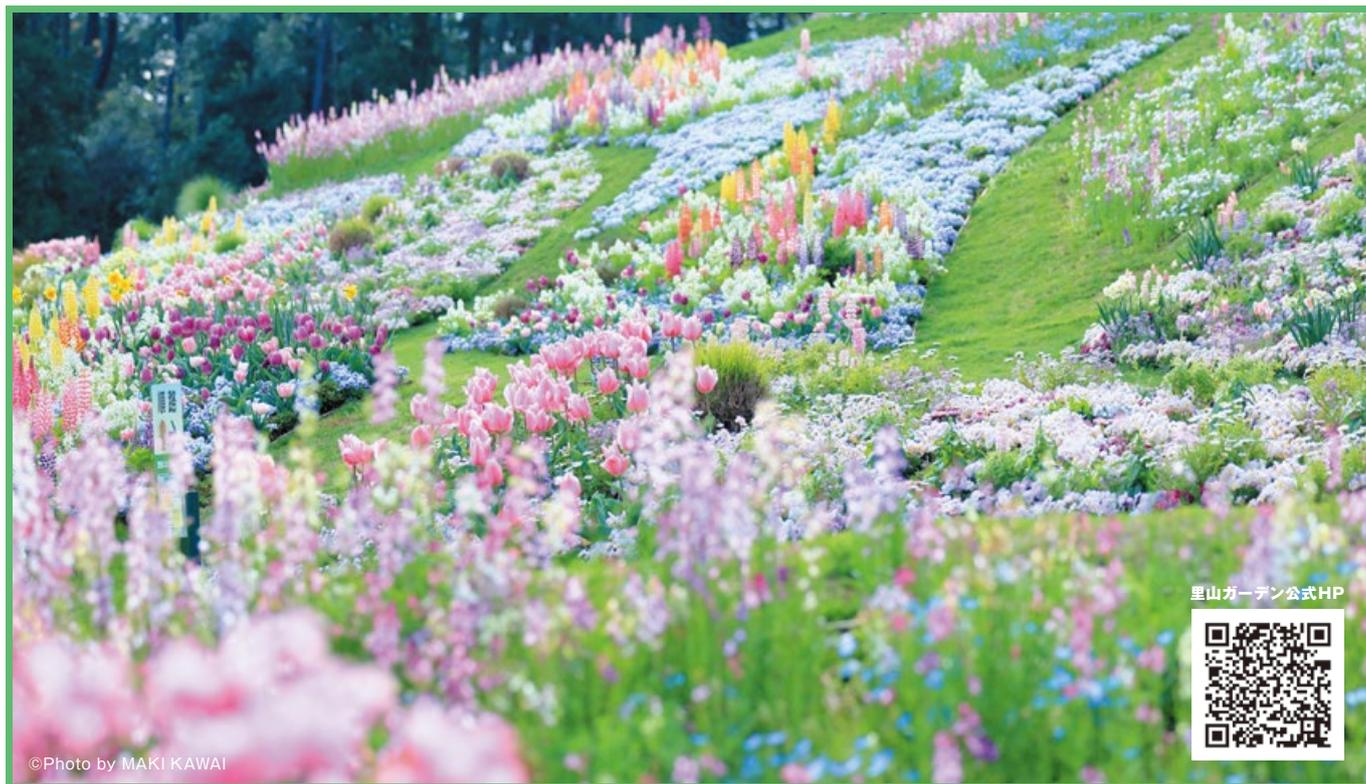




いいこいの森



里山ガーデン公式HP



©Photo by MAKI KAWAI

里山ガーデン (旭区)

※春の里山ガーデンフェスタは閉幕しました。フェスタ期間外は入れません。

医師の働き方改革について

2024年4月から、いよいよ医師の働き方の新制度が施行されました。これまで自由裁量であった時間外労働時間が制限され、労務時間の徹底、労働時間の短縮により医師の健康を確保するというものです。

最近ではブラック企業やサービス残業などの文言をよく目や耳にしますが、これまでの医師の働き方はまさにその通りであり、それが美德とされている面もありました。それにより日常の医療体制が守られ、医師としての研鑽に繋がったことは否めません。しかし、その過重労働による精神・身体障害への労災認定や、長時間労働による注意力・集中力の低下が原因と思われる医療事故も見受けられます。重要なのは長時間労働や業務負荷による健康障害・精神障害が各々に生じない体制を構築することです。その対応として当院においてはより一層のワークシェアリング、勤務均等化の工夫等が必要と考えております。

働き方改革により当院医師の働き方も変化を迎えますが、近隣医療機関並びに患者さんにはこれまでも増して「選ばれた病院」と成るべく体制を整えていきます。



副院長 脇坂 宗親

Contents

- 腎臓高血圧内科、腎臓ケア・サポートセンターのご紹介…………… 2~3ページ
- 新任診療部長のご挨拶／聖マリアンナ医科大学看護専門学校のご紹介… 3ページ
- 連携登録医のご紹介(コジマ内科クリニック)・(鶴ヶ峰クリニック)… 4ページ
- 新規連携登録医のご紹介…………… 4ページ



腎臓高血圧内科、腎臓ケア・サポートセンターのご紹介

KiCS始動

～腎不全患者さんに寄り添い続ける場所となるために～

腎臓・高血圧内科 主任医長
KiCSブランディングディレクター
町田 慎治

名称変更について

令和6年4月、当院透析療法部は腎臓ケア・サポートセンター (Kidney Care & Support Center) へと生まれ変わりましたのでご報告いたします。長い名称ですので、KiCS (キックス) の愛称で皆様に親しんでいただければ幸いです。

透析療法部



KiCS

腎臓ケア・サポートセンター
Kidney Care & Support Center

高齢化が進む日本において、私たち透析療法部は「ただ単に透析療法を行う場所」から「保存期・透析期を問わず腎不全患者さんに寄り添い続ける場所」へと変化していきたいという思いからKiCSへと名称変更するに至りました。

実務の変化について

これまで腎不全診療においては、eGFRの数値変化等に合わせ、地域の内科系クリニック⇒当院腎臓・高血圧内科 (および透析療法部) ⇒近隣の透析クリニックといったように適切な医療機関へスムーズに転医していくような地域医療連携が進められてきました。

腎機能をもとにした
従来の地域連携モデル



地域の内科系クリニック



当院の腎臓・高血圧内科外来



当院の
透析療法部



近隣の透析クリニック

しかしその一方で、いざ透析となった際にサルコペニア・フレイル、低栄養などの栄養障害を呈しており、「元気な透析患者さん」にはほど遠いという方も多く目にするようになりました。「腎不全診療が本当に患者さんの幸せに繋がっているのか?」という自問を胸に、KiCSはこれまでの腎機能をベースとした連携モデルは踏襲しつつ、①地域の内科系クリニック⇔KiCS、②当院腎臓・高血圧内科⇔KiCS、③近隣の透析クリニック⇔KiCSというように、腎機能の数値変化だけにとらわれないシームレスな地域連携モデルの構築を目指していきます。その第一弾として令和6年4月よりKiCS内に「腎サポート外来」を新設し、これまで腎臓・高血圧内科外来では時間的制約などにより十分に対応出来ていなかった「患者個々の栄養状態や社会的な問題」に院内併診という形で対応していく取り組みを始めました。今後①、③についてもKiCSと皆様が協力して「栄養状態等の問題を地域で診ていく」体制作りを行っていきたいと考えております。

KiCSの目指す
地域連携モデル



KiCSのこれからについて

残念ながら「腎不全患者さんに寄り添い続ける」という理念を完璧に実践するためのノウハウもマンパワーも私たちは現状持ち合わせておらず、今後のKiCSの発展には地域の皆様との協力が必要不可欠です。KiCSロゴマークのiの部分には日本の伝統的な家紋の1つである「輪違い」を模したデザインとなっております。「輪違い」には「共創」という意味があります。高齢化が進む日本においては従来通りの医療の延長線では解決出来ないであろう課題がたくさんあります。これらを一つ一つ解決していくべく、新たな腎不全診療モデルを地域の皆様と共に創り上げていければ幸いです。今後KiCSのコーポレートサイト(ウェブサイト)の開設も予定しており、サイト内で皆様からのご意見や要望などを抽出していきたいと考えておりますので随時お知らせさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新任 診療部長のご挨拶

血液内科 部長 横山 明弘



4月より血液内科部長を拝命いたしました。悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病を中心とした造血器腫瘍と、貧血、出血傾向、白血球減少などをきたす疾患の診療を担当します。専門性の高い診療を行うため、他科および多職種との連携を大切にしていきます。エビデンスに基づいた治療選択や患者さん・ご家族の目線に立った説明を行い、日々の診療に真摯に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科 部長 勝田 友博



2024年4月より小児科部長を拝命いたしました勝田友博と申します。どうぞよろしくお願い致します。西部病院には「こども患者憲章」という形で、こどもたちへ提供する医療に対する素晴らしい理念が設立されています。憲章に恥じないよう外来、入院を問わず全てのこどもたちに最善の医療と生活の質を提供したいと考えております。どうぞ皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

聖マリアンナ医科大学看護専門学校 オープンキャンパス

～実際に学校を体感して看護師になる夢を膨らませよう～

本校の教育理念や、学校の特徴、模擬授業、本校の卒業生である看護師からの体験談、在校生による質問コーナーなどを準備してお待ちしております。

会場：聖マリアンナ医科大学看護専門学校(川崎市宮前区菅生2-16-1 TEL.044-977-9615)

6月8日(土)	14時～16時	※対象の制限無し	学校祭合同開催
7月20日(土)	14時～16時	※対象の制限無し	対面とオンライン開催
8月3日(土)	10時～12時	※対象の制限無し	対面開催
8月24日(土)	10時～12時	※対象の制限無し	対面開催

オープンキャンパス参加の申し込み開始は、開催日の約2週間前を予定しています。申し込み開始やスケジュール等は、公式LINEアカウントでお知らせしますので、ぜひ友だち登録をお願いします。



